

# 平成20年度事業状況報告

府域の良好な自然環境の保全及び市街地の緑化を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与するため、次の事業を行った。

## ・府域に残された良好な自然環境や里山等の保全

### 1 貴重な自然環境の保全

府域に残された貴重な自然環境の保全と回復を図るため、協会の登録ボランティア「みどりすと」をはじめ、多くの府民、企業社員のボランティアの参加や大阪府立大学等の研究機関の協力を得て次の活動を行った。

- ・貴重な動植物を育む自然環境の保全に関する活動 和泉葛城山ブナ林ほか5カ所
- ・貴重な社寺林の保全契約 本山寺大阪府自然環境保全地域ほか4カ所

#### (1) 和泉葛城山ブナ林保全整備事業

国指定天然記念物である和泉葛城山のブナ林は、日本のブナ分布の南限圏にあり、標高も低いため、環境変化の影響を受けやすく、大阪府が取得した周辺森林（バッファゾーン）との一体的な保全が必要である。

このため、学識経験者等で構成する和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会の助言を得ながら、ブナ林が天然林としての生態系を維持できるようにバッファゾーンのブナ林の保全・整備に取り組んだ。

また、ボランティア団体「ブナ愛樹クラブ」や企業の社員ボランティアなど、広く府民の協力を得ながら保全・整備活動を実施した。

(保全面積 56 ha)

- ・ブナ苗木の養成（岸和田市塔原） 平成21年5月1日現在 186本が生育
- ・ブナ造林木の保育（下刈り） 2.28 ha
- ・環境測定器の設置（温度、湿度、土壌水分含有量、光量） 6基
- ・ブナ造林木のDNA調査
- ・ブナ林植生調査
- ・地元ボランティアによる周辺森林の整備 22回 参加 271名
- ・企業ボランティアによる下刈り（10月4日(土)） 1回 参加 143名
- ・巡視管理等 巡視員 4名 延べ 96日

- ・ブナ林新緑ハイキング（6月1日(日)） 1回 参加 28名
- ・ブナ林自然観察ハイキング（10月19日(日)） 1回 参加 19名

## （2）三草山ゼフィルスの森保全整備事業（大阪府緑地環境保全地域）

能勢町三草山は、日本に生息するミドリシジミ蝶（ゼフィルス）25種のうち10種が生息し、なかでも、ヒロオビミドリシジミは日本の分布の東限になっていることから、当協会が生息主要区域に地上権を設定し、ヒロオビミドリシジミの幼虫の餌であるナラガシワ林の保全等のための事業を実施した。

また、萌芽更新によるナラガシワ林の維持管理に加えて、休耕田を活用したナラガシワの苗木づくりを実施した。

（保全面積 14 ha）

- ・防火帯の刈り払い、蝶類の生息環境に合わせた林内の整理 2.5 ha
- ・萌芽更新によるナラガシワ林の試験的更新 0.10 ha
- ・不法採取等の巡視 地元ボランティア「城好会」により実施
- ・蝶類の調査（里山管理と蝶類群集の多様性との関連性）  
大阪府立大学等の研究と連携
- ・ボランティアによる笹の刈り払い、除伐整理、落ち葉掻き、苗畑及び萌芽更新地の管理 8回 参加 115名
- ・ゼフィルス観察会の開催（6月22日(日)） 雨天中止

## （3）能勢町地黄湿地の保全（大阪府緑地環境保全地域）

トキソウ、サギソウ、モウセンゴケ等の湿地植物やハッチョウトンボやモリアオガエル等の貴重な野生動植物が生息する能勢町地黄の湧水湿地の維持管理のための保全作業を行った。また、継続して地下水水位の変動を観測した。

地元やボランティアの協力を得て、陸地化を促進するススキなどの掘りとりや周辺森林の伐採などの作業を行った。特定外来生物に指定されているウシガエルは今年度確認されなかった。

（保全面積 18 ha）

- ・地下水水位の測定
- ・特定外来生物ウシガエルの巡視
- ・モリアオガエルの卵塊調査 約 150 個
- ・ボランティアによる侵入した樹木やススキの掘り取りや湿地周辺森林の伐採整理 2回 参加 9名

#### (4) 和泉市信太山惣ケ池湿地の保全

市街地に隣接しているにもかかわらず、多様な生態系を保っている信太山惣ケ池の湿地において、保全管理マニュアルに基づき、ボランティアの参加によるササ刈りや湿地植物の種多様性を高めるための耕起などの保全作業を実施した。

(保全面積 3 ha)

- ・乾燥化につながるネザサの刈り払い、帰化植物の除去、湿地植物の多様性を高める耕起作業、水路の整備等 2回 参加 36名
- ・絶滅したと考えられていたシソクサ調査 1回 参加 16名
- ・カスミサンショウウオ産卵調査(3月8日(日)) 1回 参加 22名

#### (5) 八尾水辺エコアップ活動

希少な淡水魚ニッポンバラタナゴの大阪府内での絶滅を回避するため、野池の環境を整備して、ニッポンバラタナゴの産卵宿主となるドブガイとあわせて増殖に取り組んだ。ニッポンバラタナゴは順調に増殖しており、ドブガイの繁殖も確認できた。

(保全池面積 0.1 ha)

- ・ヘドロの除去、ドブガイの生育環境の改善のための土砂補給、水路の維持管理、ため池周囲の草刈り 13回 参加 65名
- ・ドビ流しによる池の浄化作業と生きもの調査(11月16日(日)) 雨天中止

#### (6) 大和葛城山カタクリ群生地の保全

府内で唯一のカタクリ群生地において、周辺からの藪の侵入を防止するためのササ刈りや立入防止柵の改修等の環境整備を実施した。自主活動グループ「大和葛城山の自然を大切にする会」が主体となって、ギフチョウの卵調査や奈良県側(橿原地区財産区も含む)での保全作業なども行った。

(保全面積 3 ha)

- ・ボランティアによる侵入するササ類の除去、無立木地の草刈り、林内整理、ボランティアによる調査(カタクリの分布、ギフチョウ産卵調査)等 81回 参加 305名
- ・日本チョウ類保全協会と合同でのギフチョウ卵調査  
(6月9日(月)~10日(火)) 参加のべ 14名
- ・日本チョウ類保全協会シンポジウム(三田市)にて発表(3月1日(日))
- ・カタクリ観察会の開催(4月27日(日)) 1回 参加 20名

## (7) 大阪府自然環境保全地域(社寺の貴重な自然林)の保全事業

社寺に残るすぐれた自然林を地域の極相林として維持するため、5カ所の大阪府自然環境保全地域について、管理者との保全契約に基づき支援した。

(保全面積 38 ha)

・妙見山自然環境保全地域	(能勢町	10 ha)
・本山寺自然環境保全地域	(高槻市	14 ha)
・若山神社自然環境保全地域	(島本町	11 ha)
・美具久留御魂神社自然環境保全地域	(富田林市	2 ha)
・意賀美神社自然環境保全地域	(岸和田市	1 ha)

## 2 里山の保全活動

かつては人々の暮らしを支える森として利用されてきたが、燃料革命などの生活様式の変化に伴って手入れされなくなった雑木林や人工林を再生するため、(社)国土緑化推進機構や(財)三菱UFJ環境財団から助成を受けて、ボランティアの参加による間伐、下刈り、つる切り等の森林保育作業を8カ所で行った。

また、里山保全活動を地域に根づいた持続性のある活動とするため、各活動地でボランティアによる自主的な活動を進めた。また、企業によるCSR活動のフィールドとして受け入れた。

### (1) 各活動地のテーマ及び実施状況

能勢町歌垣の森 (放置された栗林の再生とギフチョウの保護: 2 ha)

「能勢のギフチョウを守る会」 8回 参加 103名

箕面市外院の森 (都市近郊の放置林の整備・再生: 3 ha)

「外院の杜クラブ」 5回 参加 45名

茨木市車作の森 (多様な動植物を育む里山の再生: 40ha)

「車作里山倶楽部」 37回 参加 622名

島本町大沢の森、水無瀬水源の森等 (山村と都市の交流: 18 ha)

「島本森のクラブ」 33回 参加 341名

和泉の国の森づくり(地域と都市住民の協働による森づくり: 7 ha)

11回 参加 287名

貝塚市蕎原の森 (台風被害森林の復旧: 11ha)

(財)三菱UFJ環境財団から助成 9回 参加 212名

泉佐野市いずみの森（ボランティアによる森づくり西日本拠点：31ha）

「いずみの森ボランティアの会」、（社）国土緑化推進機構から助成

21回 参加 895名

泉南市堀河の森（企業ボランティアによる森づくり：11ha）

6回 参加 307名

## （2）企業によるCSR活動の受け入れ

- ・三草山ゼフィルスの森 2件
- ・歌垣の森 1件
- ・車作の森 1件
- ・和泉葛城山ブナ林 1件
- ・蕎原の森 4件
- ・いずみの森 7件

## 3 学校環境緑化等の推進

子どもたちが生きものに触れ、実践的な活動や体験ができる環境教育の場を創出するために、「ローソン緑の募金」からの寄附金を活用した学校環境緑化モデル事業や学校林整備・活用推進事業を実施した。

- ・学校環境緑化モデル事業（2カ所）
  - 吹田市立吹田第2小学校（ビオトープづくり）
  - 大阪教育大学附属平野小学校（ビオトープづくり）

## **. ボランティアの育成**

森林保全や里山の循環的利用などの基礎的な技術と知識を習得できる講座を開設し、ボランティアの人材確保及び育成を図った。緑化行事等においては、自然素材を使ったクラフトの指導者派遣等を行った。また、次代を担うボランティアの育成にも努めた。

その他、(社)国土緑化推進機構からの受託事業により、企業CSR活動の受け入れ態勢の整備とボランティア活動の促進を図る研修会や講座も開催した。

### **1 ボランティアの養成**

#### **(1) 里山ボランティア養成講座の開催**

美しい里山景観が残る能勢町において、地元ボランティアの協力のもと、伝統的な文化や暮らしにつながる里山と人々のかかわりについて学ぶ「里山ボランティア養成講座」を開催し、新たなボランティアの発掘とその育成を行った。修了後の保全活動への参画を促進した。

平成20年4月開講、年9回実施

受講者 のべ 327 名

#### **(2) みどりすと講座**

当協会会員や登録ボランティア「みどりすと」の技量向上と指導者育成のため、人工林伐採技術の講習、林業器械の講習、伐採した樹木が活用できる石窯講習会などを実施した。

計3回実施

受講者 のべ 38 名

#### **(3) 活動プランナー養成ブロック研修**

(社)国土緑化推進機構からの受託事業として、近畿地区(2府5県)で活動する森林ボランティアやNPO団体のボランティアリーダーを対象とし、活動の「企画・調整力」の習得と向上を目指した研修会を開催した。

日時：平成21年2月5日(木)～7日(土)

場所：大阪府立少年自然の家(貝塚市)

参加：2府5県 のべ 42 名

## 2 ボランティアの派遣

良好な自然環境や里山の保全及び緑化の推進を図るため、各フィールドでの継続的なボランティア活動の実施、あるいは、緑化行事などでの木工クラフトの指導者として登録ボランティアを派遣した。

ボランティア活動に必要な用具や資材を整備すると共に、活動時の事故対策として、傷害賠償保険に加入した。

- ・みどりすと活動 201 件 3,458 人
- ・クラフト指導者の派遣（11 市町村へ） 15 件 派遣数 74 人

## 3 青少年緑化活動推進事業

緑とふれあう体験活動を通じて、緑を守り育てる心豊かな人間性をもつ青少年を育成するために、大阪府緑の少年団連盟の交流集会や学校等の教育機関からの依頼を受けて、講義や自然の中での体験学習等を行った。

- ・大阪府緑の少年団連盟の実施事業

緑の少年団全国大会への参加 日程：平成20年7月30日(水)～8月1日(金)  
場所：福島県郡山市

大阪府緑の少年団交流集会 日程：平成20年8月23日(土)  
場所：茨木市立里山センター(茨木市)

- ・幼稚園(2件)、小学校(2件)、中学校(1件)  
能勢町教育研究会(小中学校教員)(1件)

## 普及啓発事業

自然環境の保全と緑化の推進についての認識を深め、トラスト運動への積極的な参加を促進するため、当協会事業地を活用した自然観察会の開催や大阪府の「木になる夢銀行事業」の銀行窓口業務などを行った。

その他、(社)国土緑化推進機構からの受託事業により、「美しい森林づくり」に向けた活動参加を促進するためのシンポジウムの開催や普及啓発資材の作成、家畜堆肥の活用促進のためのイベントの開催などを行った。

### 1 普及啓発のためのイベントの開催

自然観察会などの実施により自然に触れ、楽しみ、学ぶ体験を通じて自然環境の大切さを啓発した。また、当協会事業の理解及び森林保全活動への市民の参加と支援を求めた。(再掲含む)

・歌垣の森ギフチョウ観察会	平成20年	4月19日(土)	14名
・大和葛城山カタクリ観察会	平成20年	4月27日(日)	27名
・歌垣の森ギフチョウ卵調査	平成20年	4月29日(火・祝)	20名
・車作の森キツネノカミソリ観察会	平成20年	8月16日(土)	109名
・「里山収穫祭」in 三草山	平成20年	10月18日(土)	20名
・ブナ林自然観察ハイキング	平成20年	10月19日(日)	19名
・大和葛城山植物観察会	平成20年	10月28日(火)	20名
・いずみの森自然体験	平成20年	11月22日(土)	151名
・カスミサンショウウオ産卵調査	平成21年	3月8日(日)	22名

その他、緑の募金運動を通じて緑化啓発や自然環境・里山の保全等について啓発活動を行った。

### 2 (社)国土緑化推進機構からの受託事業

#### (1) 美しい森林づくりシンポジウムの開催

大阪府内でもすばらしい里山環境や伝統的な文化を残している能勢町において、森林機能の重要性の再認識を図るとともに、継続的に当協会が実施している能勢町での保全活動の必要性を伝えるために実施した。



・「にほんの里100選 記念シンポジウム

～多くの生きものを育む能勢の自然～（人形浄瑠璃上演含む）」

日程：平成21年3月22日（日）

場所：浄るりシアター（能勢町）

参加：80名

内容：人形浄瑠璃の上演 能勢人形浄瑠璃鹿角座

講演 石井実（大阪府立大学副学長）

服部保（兵庫県立大学教授）

パネルディスカッション

・フィールドワーク

「長谷の棚田と三草山」

日程：平成21年3月20日（金・祝）

場所：長谷の棚田、三草山

参加：19名

「吉野のギフチョウ保全」

日程：平成21年3月21日（土）

場所：歌垣の森周辺

参加：28名

## （2）家畜堆肥利用促進支援事業

家畜とふれあいながら、堆きゅう肥を利用した植樹と講演会を行った。

・「フォール・イン・アニマルズ」

日程：平成20年11月24日（月・祝）

場所：おおさか府民牧場

参加：110名

内容：講演 宮下実（天王寺動物園園長）

植樹 江戸彼岸桜 50本

## 3 情報誌等の発行

当協会会員をはじめ行政機関、府民に協会の活動状況や自然に関する情報を提供するため、会報「みどりのトラスト」を年3回（8，12，4月）発行した。

また、美しい森林づくりシンポジウムの開催にあわせて、能勢町の活動地紹介や

生物多様性のパンフレットやグッズを作成した。

ホームページを充実させることにより、効果的な情報提供やCSR活動支援に対する取り組みなどの充実を図った。

・ 会報（第60号～62号）		計 30,000 部	（10,000 部/回）
・ パンフレット	能勢町活動地紹介	3,000 部	
	生物多様性	1,500 部	
・ グッズ	エコポーチ	2,000 部	
	クリアファイル	2,000 部	

#### 4 会員の募集

当協会の保全活動や緑化関係各種イベント、会報・パンフレットの配付等を通じて会員の拡大を図った。特に、CSR活動サポート用のパンフレットを作成し、企業や団体の法人会員の加入をよびかけた。

・ 新規会員登録者数	個人 99 人、法人 2 団体
（平成20年度会員数	個人 988 人、法人 45 団体）

#### 5 専門委員会の開催

当協会の事業実施に当たり、専門的知識を要する事項について助言を得るために次の専門委員会を開催した。

・ 普及啓発委員会	3 回
会報「みどりのトラスト」の編集および緑の募金、その他、広報及び普及啓発活動について協議、検討	

## . 緑の募金運動

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、「緑の募金」運動を積極的に展開し、市街地の緑化の推進、森林の整備、緑づくりの活動支援等に努めた。

「緑の募金」運動を進めるにあたり、幅広い参加による府民運動とするため、青少年団体、経済団体、企業、市民団体の協力を得て実施した。

### 1 募金活動

#### (1) 募金資材の整備

募金運動を実施するため、緑の羽根、募金箱、PRポスターなどの資材を作成し、募金実施団体に配布した。

- ・緑の羽根 665,000 本
- ・募金バッジ等 春季：ヤブツバキピンバッジ 21,500 個  
秋季：ムラサキシキブピンバッジ 6,000 個
- ・募金箱、タスキ、ポスター等

#### (2) 募金活動の推進

##### (ア) 集中取り組み期間

(春季) 平成20年3月1日から 5月31日まで

(秋季) 平成20年9月1日から 10月31日まで

##### (イ) 募金の実施

- ・街頭募金、学校募金、職場募金、家庭募金、企業募金等により行った。
- ・ボーイスカウト、ガールスカウト、緑の少年団などの青少年団体や地域婦人団体などによる街頭募金をはじめとして、企業や店舗の他、公共施設等に募金箱を設置して実施した。

##### (ウ) 募金運動のPR

- ・各報道機関に「緑の募金」運動の周知・協力を要請し、4月にはNHKニュース番組においてアナウンサーに緑の羽根着用の協力を得た。
- ・大阪府広報、市町村広報でのPR協力企業の店舗などでポスター掲示を行うとともに、街頭募金キャンペーンを実施した。

#### < 街頭募金運動キャンペーン >

協力団体の参加を得て、トラスト協会主催の街頭募金キャンペーンを実施した。

区分	実施日	場所	協力団体
春季	4 / 25	近鉄「阿倍野橋」駅内	大阪市地域女性団体協議会
春季	5 / 17	阪急「梅田駅」構内 サン広場	(社) ガールスカウト日本連盟大阪支部第2団

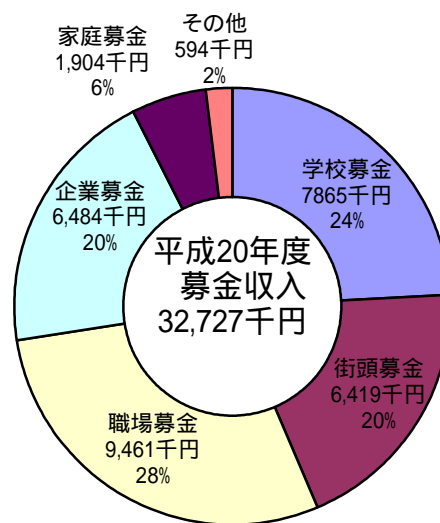
(エ) その他

大阪府植樹祭、市町村緑化行事、その他団体緑化行事に出向いて、募金を呼びかけた。

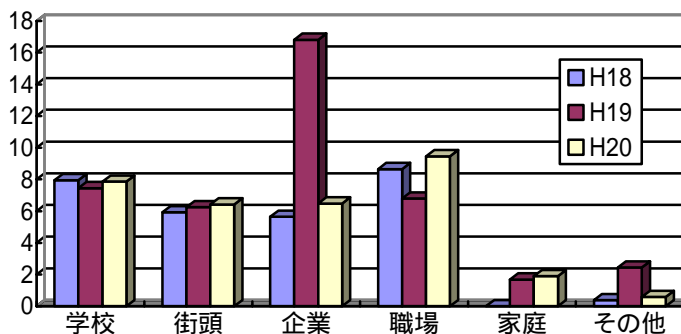
(3) 募金実績

平成20年度の募金総額は 32,727,193 円(1,345件)で、昨年度に比べ 8,715,633円、850件 減の実績となった。昨年度は企業募金(木材関係団体と金融機関)と個人からの大口寄付があったことを除けば、総じて年々漸増傾向にあるといえる。

【平成20年度種類別募金額】



【過去3年間の種類別募金額の推移】 (単位:百万円)



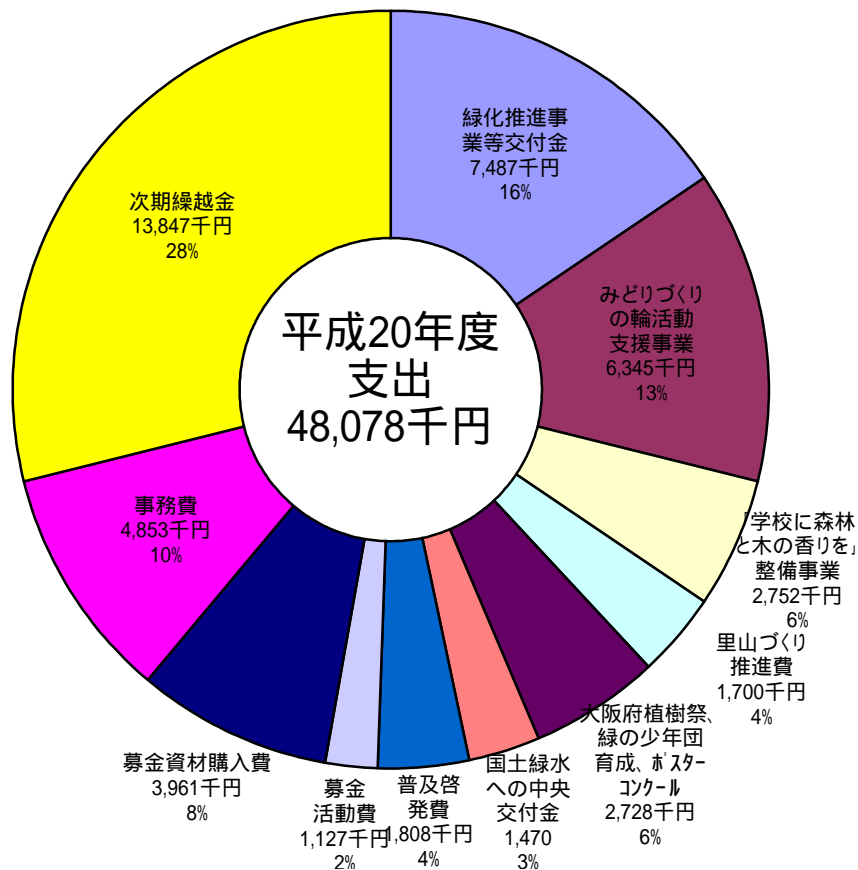
## 2 緑の募金事業の実施

### (1) 緑の募金事業支出

平成20年度は次のグラフのとおり事業を実施した。

平成20年度からの繰越金の一部をみどりづくりの輪活動支援事業及び里山づくり推進費に充当し、事業の拡充を図った。

【平成20年度緑の募金事業別支出割合】



### (2) みどりづくりの輪の拡大と森林の整備

#### (ア) みどりづくりの輪活動支援事業

市街地の緑化を推進するとともに、森林整備の促進を図るため、ボランティアやNPO、市町村緑化団体等が行う緑化活動に助成を行った。

助成内容	平成20年度 6,323千円	平成19年度 5,034千円
森林、里山の整備	5箇所	5箇所
学校ビオトープづくり	12箇所	9箇所
市街地緑化	6箇所	4箇所
合計	23箇所	18箇所

## (イ) 「学校に森林と木の香りを」整備事業

教育施設において、森林の整備、木材の利用、緑の効用について理解を深めるとともに、木の香る快適な学習環境を提供するため助成を行った。

### 【補助先及び整備内容】

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| ・門真市立浜町中央小学校 | ベンチデスク 2 基           |
| ・大阪府立大正高等学校  | 府内産間伐材ベンチ、テーブル、間伐材イス |
| ・池田市立北豊島中学校  | 多目的教室の木製フローリング化      |
| ・大阪狭山市立西小学校  | 小ホールの床の杉板フローリング化     |

## (ウ) 里山づくりの推進

里山の多様な生きものの生息環境の確保や良好な里山景観をよみがえらせるため、人工林や雑木林の手入れ、植樹などを行い、森林の多様な役割を取り戻すため、ボランティア参加による保全活動を行った。

- ・歌垣の森（能勢町）、島本の森（島本町）、車作の森（茨木市）、堀河の森（泉南市）等

また、地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7 - 3 区において、行政、府民、NPO、企業等の多様な主体が協働して取り組む「共生の森」づくり活動に参画し、植樹を行った。

## (エ) 緑の少年団の育成

「大阪府緑の少年団連盟」の活動の活性化と各団の活動の充実及び育成を図るために、各団の活動に対して助成した。

- ・緑の少年団 10 団体 547 名（平成 21 年 3 月 31 日現在）

## (3) 緑化の活動と普及啓発

### (ア) 募金団体による地域緑化の推進

地域や学校等の緑化を推進するため、募金額の一部を緑化推進事業等交付金として募金団体に交付し、植樹、花壇の整備、緑地の手入れ等の緑化活動を行った。

- ・交付団体数 823 件（平成 19 年度 872 件）
- ・交付金額 7,486,678 円（平成 19 年度 7,447,063 円）

### (イ) 第 56 回大阪府植樹祭の開催

と き：平成 20 年 4 月 29 日（火・祝）

と ころ：南河内郡河南町 「弘川寺歴史と文化の森」

主 催：大阪府、河南町、（財）大阪みどりのトラスト協会  
行事内容：緑化功労者及び国土緑化ポスターコンクール入選者の表彰、植樹、  
展示、クラフト等

< 緑化功労者表彰 >

緑化に功労のある団体を「大阪みどりのトラスト協会緑化功労者」として表彰した。

- ・大阪市立西淀川高等学校
- ・日本ボーイスカウト大阪第131団
- ・日本ボーイスカウト大東第4団
- ・（社）ガールスカウト日本連盟大阪第55団

< 国土緑化ポスターコンクール入選者表彰 >

平成20年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの入選者を表彰した。

### （ウ）国土緑化運動ポスターコンクールの実施

児童、生徒の自然や緑への関心を高めるために、府内小・中・高等学校の協力を得て、平成21年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールを行い、優秀作品を国土緑化推進機構が行う全国コンクールに応募した。

入賞者については、トラスト感謝祭で表彰するとともに作品を展示

- ・ 応募者数 290 名（参加者数 1,189 名）  
うち入賞（トラスト協会賞）22点
- ・ 全国コンクールへの推薦及び受賞（上記22点から14点を推薦）  
国土緑化推進機構理事長賞 入選 1名  
林野庁長官賞 準特選 1名

### （エ）トラスト感謝祭

当協会のクラフト指導者として、各種イベントでの参加・協力をいただいている方々に対する表彰及び平成21年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入選者の表彰を行うとともに、記念植樹を行った。

と き：平成21年3月29日（日）

と ころ：天王寺動物園（大阪市）

主 催：（財）大阪みどりのトラスト協会

行事内容：平成21年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入選者の表彰

## トラスト協会クラフトボランティア表彰

記念植樹（天王寺動物園内アフリカ・サバンナエリアの緑化）

### （オ）中央交付金

募金中央団体である（社）国土緑化推進機構が行う全国規模での緑化事業に要する経費を交付した。

- ・中央交付金 1,470,000円

### （カ）普及啓発活動の拡充

- ・「地球温暖化防止キャンペーン」として、「緑のカーテン」普及活動のため、つる植物の種子を17,000袋配布した。
- ・懸垂幕をみどりの月間（4月15日～5月14日）と山に親しむ推進月間（11月）に大阪府庁舎で掲出した。
- ・その他、チラシの作成や大阪商工会、府友会など募金協力団体の機関誌に「緑の募金の呼びかけ」を行う記事を掲載した。

## 3 緑化推進運営協議会の開催

緑の募金運動を展開するため、次のとおり緑化推進運営協議会を開催し、事業計画、収支予算等を審議した。

- ・平成20年5月21日（水） 平成19年度事業状況報告、収支決算
- ・平成21年2月25日（水） 平成20年度収支補正予算  
平成21年度事業計画、収支予算



## 基本財産及びトラスト基金の造成

基本財産は 226,063,241 円（平成21年3月末現在）となっており、希少な動植物の保護などの自主運営能力を高めるために増額に努力した。

また、和泉葛城山ブナ林とこれを取り巻く森林を一体的に保全するための「ブナの森トラスト基金」及び能勢町三草山に生息するミドリシジミ類の蝶類の保護のための「ゼフィルスの森トラスト基金」の造成に努めた。

### ブナの森トラスト基金

・基金寄附件数及び寄附金額	92 件	1,031,722 円
(平成21年3月末現在 累計	3,480 件	79,676,312 円)

### ゼフィルスの森トラスト基金

・基金寄附件数及び寄附金額	44 件	595,384 円
(平成21年3月末現在 累計	1,808 件	46,055,692 円)